

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2673200263
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会
事業所名	洛和グループホーム京田辺
所在地	京都府京田辺市興戸郡塚57-3 (電話) 0774-68-1266

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成19年11月28日	評価確定日	平成20年1月7日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17 年 3 月 25 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 5 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 8.0 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	28,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(20,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,670 円

(4) 利用者の概要(11月 16 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	78 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	第二寺島クリニック、せきにし歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近鉄興戸駅から西に徒歩10分ほど、自然に囲まれた昔ながらの民家が
 続く静かな環境の中に立地しています。「医療」「介護」「健康・保育」「教
 育・研究」など幅広い地域で事業展開をしている大型法人を母体もって
 いるため、質の高いケアサービスが組織として提供できるシステムが整っ
 ています。医療面においても法人の訪問看護ステーションとの連携のもと
 24時間体制で対応でき、ターミナルケアも可能となっており、安心して生
 活することが出来ます。入居者は、裏庭の菜園で咲いた花を生けたり、収
 穫した野菜や果物を料理して自然に触れながら職員と共に楽しく目的に
 向かって生き活きと生活されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を参考に、事業所独自のホーム便りを発行するなど、改善に向けて取り組まれています。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価表の作成は、管理者が行っていますが、内容については、職員全員の意見を基に記入されており、より良いケアを提供していきたいという職員の前向きな姿勢が感じられます。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2か月に1回開催の運営推進会議においては、入居者の近況報告・情報交換などされており、会議で取り上げられた検討事項などについては、スタッフ全員に報告し、改善に向けて取り組んでいる。また、会議を活用して入居者の離脱などの際の協力依頼や体制作りに取り組んでいる。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情等の処理については、重要事項説明書に記載し、窓口を設けて対応しています。また、玄関にも意見箱を設置したり、半年ごとに満足度調査を実施するなどして、積極的に意見を取り入れ運営に反映させています。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	夏祭りを開催し、近所の方に参加をよびかけたり、近所の方の介護の相談に応じるなど日々の生活の中での交流を心がけています。また、ホーム内に地域交流スペースを設け気軽に訪問してもらえるようにしています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「楽しく共に支えあい生きる」という理念を掲げ、日々実現に向けケアしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関の目に付く場所に額に入れて掲げられている。また、名札の裏面にも書かれており、普段から皆が意識しながら実践に向けて取り組んでいる。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りを開催し、近所の方に参加をよびかけたり、近所の方の介護の相談に応じるなど日々の生活の中の交流を心がけている。また、ホーム内に地域交流スペースを設け気軽に訪問してもらえるようにしている。	○	現在、ホームの紹介や行事の案内などコミュニケーションが図れるような掲示板をホームの前に設置したいとのことなので設置できることを期待する。また、今後は、地域の小学校や中学校との交流を深め、地域の理解と協力の下で共に支えあうケアを実践されることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価表は管理者が記入しているが、意義を理解し、全員で内容を確認している。また、玄関に評価表を置き家族も見られるように配慮している。前回の評価を参考にホームだよりを発行するなど改善に向けて積極的に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催の運営推進会議においては、入居者の近況報告・情報交換などされており、会議で取り上げられた検討事項などについては、スタッフ全員に報告し、改善に向けて取り組んでいる。また、会議を活用して入居者の離設などの際の協力依頼や体制作りに取り組んでいる。		

洛和グループホーム京田辺

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所や警察署には、必要に応じて訪問し、相談や問い合わせなど交流する機会を持っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回金銭管理報告と共に、入居者の暮らしぶりや、健康状態、行事予定などを報告し、ホーム便りにて職員の異動なども報告している。訪問時には写真などを見ていただき、近況報告も行っている。また、健康状態に変化があった場合などは電話やファックスで報告し、相談している。	○	今後更に家族等との信頼関係がもてるよう各家族への連絡ノート等を設置する計画をされているので是非実行できることを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等の処理については、重要事項説明書に記載し、窓口を設けて対応している。また、玄関にも意見箱を設置したり、半年ごとに満足度調査を実施するなどして、積極的に意見を取り入れ運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者、ご家族への信頼関係を築くためにも異動等は最小限に留めるよう努力されている。管理者が代わる場合もコミュニケーションを大切に、今までの雰囲気や関係を壊すことなく交代できるよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として人材育成のための研修が計画され、できるだけ参加できるよう配慮されている。また、春の交通安全講習やバリデーションセミナーなどホーム独自の研修も積極的に参加し、毎月の会議で伝達している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	田辺市の老人施設組合に加入し、他事業者とのケース検討や情報交換などを実施し、交流を図っている。	○	以前に、職員の交換研修なども実施されていたのですが、今後も合同の行事や訪問交流など、事業者同士協働しながら質の向上が図れるような工夫をされることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学は随時、行っている。利用の可能性のある方については、事前に見学に来ていただき、入居者と一緒に過ごしてもらい、安心して入居していただけるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや家事仕事など日常生活を入居者とともに行っている。また、家庭菜園で収穫した大根やみかんサツマ芋などの料理方法や、花を飾る場所なども職員が決めるのではなく、その都度相談しながら楽しく行っている。人間関係についても学ぶことが多い。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントにはセンター方式や法人独自のシートを作成し、一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、個人の思いが引き出せるよう工夫をし、家族等からも情報が得られるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的なアンケートの実施や、訪問時に意見交換を行うなどご家族の意見や希望を把握し、本人が自分らしく暮らせるよう職員全員で話し合い介護計画に反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヶ月ごとにカンファレンスを実施し、日常の会話やアンケート、訪問時に聞き取ったご家族の希望を取り入れ、見直しを行っている。また、期間の途中でも状態に変化があった場合は、その都度家族やご本人と相談し、新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が対応できない場合の通院や、買い物やドライブなどの外出の支援、京都検定試験受験のための同行などご本人の希望に合わせて柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回の協力病院の往診や、週1回の訪問歯科診療などを利用しているが、希望に応じて個人のかかりつけ医に受診する支援も行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を定め、家族・医師等を交えて話し合い、必要な支援を行う体制を整えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議や研修等で職員の意識向上を図るだけでなく、日々職員同士が言葉使いなど注意し合いながら、プライバシーを重視したケアを実践している。個人情報の記録物については、鍵付きの書庫に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴時間など、その日の体調や希望に合わせて行い、他の入居者との関係が保てるようさりげなく支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど個々の出来ることや得意なことを一緒に行っている。献立はお一日の赤飯など、食べたいものを取り入れたり、裏庭で収穫した季節の野菜なども調理方法を皆で相談しながら1週間ごとに職員が順番に立てている。アレルギー・嗜好等についても対応している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は13:30~21:00まで可能であり、特に順番を決めず、希望や体調を配慮して実施している。希望があれば毎日入浴も可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴や希望を把握し、京都検定受験の支援や散歩している犬との触れ合い、園芸やカラオケ、アコーディオンの演奏ボランティア、手品等その人に合った楽しみや生きがいが持てるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日用品の買い物だけではなく、近くの神社や土手を散歩するなど希望に応じて随時行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には安全のため、センサーを設置しているが、夜間以外鍵はかけていない。入居者がホームを出られたときは職員が付き添って外出するようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回は、消防と合同で非難訓練を実施している。また、毎月通報の方法などのテーマを決めて10分程度の訓話を行っている。	○	運営推進会議などを利用して、地域と合同の避難訓練を実施されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立・検食簿は法人に提出し必要時には管理栄養士がアドバイスをするシステムになっている。個々の食事摂取量は記録し、必要な場合は水分量も記録している。食事が少ない場合などは看護師に相談し、対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は家庭的で和風の家具が配置され、たたみコーナーには卓袱台があり、懐かしく落ち着いた雰囲気になっている。また、自然光を取り入れた程よい明るさであり、菜園に咲いている草花をさりげなく飾ってあり季節感とともにホームの暖かさが感じられる。入居者はテレビを観たり読書をするなど落ち着いてゆったりと生活されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅からなじみの家具や道具・写真など家族と相談してもってこられている。ほとんどの部屋がたたみ敷きであり部屋として違和感がなく居心地が良い雰囲気である。希望時には洋室に模様替えも可能である。		